

授業科目	精神看護学援助論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		2年次	1	30		岩脇 孝導 鳥羽あゆみ	有
授業概要	精神看護に限らず、看護は人間関係の上に成り立っている。病気の成り立ちを理解する上でも、傷ついた心が癒される上でも、人間関係という視点は重要である。本科目では、ケアの人間関係について学び、精神看護で活用する援助技術と援助方法について学習する。また、精神障害をもつ人が地域で暮らし続けるために、求められる看護師の役割を学習する。演習では、精神障害を持つ人との援助関係を発展させるためのコミュニケーション技術を学ぶ。						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	序 ●概論の振り返り ●精神看護学の位置づけ、精神看護学を学ぶ意義 I. 精神障害をもつ人と「患者—看護師」関係の構築 1. 精神障害をもつ人とのかかわりかた 1) 患者—看護師関係の目指すこと 2) 患者—看護師関係を理解するための手がかり 2 3) 関係構築にあたっての基本的な態度 4) 患者とのかかわりで起こりうることと対処 3～5 2. 精神障害をもつ人とのコミュニケーション 1) コミュニケーションとは 2) 精神障害をもつ人とのコミュニケーションの特徴 3) コミュニケーション技法 6・7 3. 精神障害をもつ人との関係の振り返り 1) 振り返ることの意味 2) プロセスレコード 演習：プロセスレコード活用の実際						講義
8	II. 精神障害をもつ人への看護援助の展開						
9	1. 看護援助の基本構造						
10	1) 看護過程の展開						
	2) ペプロウ「人間関係の看護論」						
	2. 精神障害をもつ人のセルフケアの援助						
11	1) セルフケアとは何か						
12	2) 看護理論の必要性 ・オレム—アンダーウッド理論						
13・14	3. 患者による自己管理						
	III. 精神障害をもつ人の地域における生活への支援						
	1. 地域精神保健における多職種連携とアウトリーチ						
	2. 長期入院患者の地域生活への移行支援						
	3. 地域生活支援の実際						
	4. 精神障害をもつ人を介護する家族への支援						
15	試験						
テキスト	新体系看護学全書精神看護学②「精神障害をもつ人の看護」／メヂカルフレンド社						
評価方法	筆記試験						
先修条件	疾病治療論Ⅷ、基礎看護学9単位、精神看護学概論Ⅰの履修						